「隼で安心して住み続けよう 隼みんなで元気になろう」が合言葉

隼地区まちづくり委員会の取り組み

平成17年3月末の八頭町合併時に発足した「隼・福祉の会」（70歳以上の独居高齢者・日中独居高齢者を対象）を母体として準備委員会を立ち上げ、集落説明会をはじめ、町行政や社会福祉協議会との協議などを経て、平成28年10月18日に「隼地区まちづくり委員会」を設立しました。

独居高齢者や高齢者世帯が増加する中、「住み慣れた地域で安心して生活できる」、「地域の人と声を掛け合う思いやりのまちづくり」、「自立した生活をみんなで考えよう」を目標にしています。

隼地区まちづくり委員会設立会の模様

11月には、八頭町が平成29年度から始める介護予防・日常生活支援総合事業で推奨している『いきいき百歳体操』を「さとに田園クリニック」の安住理学療法士の指導で、委員や事業推進員が体験し、毎回の「まちづくりカフェ」の中で、『いきいき百歳体操』を行うことにしました。

12月13日には、「第1回まちづくりカフェ」を開催し、委員などを含め62名の方にご参加いただき盛大に行うことができました。初めてということで参加者の取りまとめや送迎、受付など多少の混乱はありましたが、委員や事業推進員など多くの方の協力とボランティア精神で、大成功でした。また、愛称を募集し、多数の応募の中から参加者の投票で「ここに来ればみんなが楽しく笑顔になれる。何より声をだして笑うことが元気のもと」と地域の皆様の思いが詰まった『すまいる隼』に決定しました。

錘を手足に着けて行う『いきいき百歳体操』

12月20日の「第2回まちづくりカフェ（クリスマス会）」では、『いきいき百歳体操』で体を動かした後、手作りケーキや好みの飲み物、差し入れのみかんでカフェを楽しみました。最後のビンゴゲームは景品付きとあって大盛況で、お腹も心も満腹となりました。参加者からは「こんないい会、早くからあったらよかった」、「毎週火曜日が楽しみ」などうれしい言葉をたくさんいただきました。

『すまいる隼』へ行こうという声が地域全体を元気にすると思っています。

平成29年3月末には隼小学校が閉校となり、校舎の改修が行われます。改修後は校舎1階に活動拠点を移して、福祉の充実した隼地区を創りあげることが、私たちまちづくり委員会に係わる者の願いです。

いきなりトップギアではなく、ロー発進で徐々にシフトアップしながら、地域全体で「思いやり、心づかい」のある『すまいる隼』の活動を充実していきたいと思います。

（隼地区まちづくり委員会
集落支援員　中山勝恵）

笑顔があふれたクリスマス会（参加者56名）